

常任委員会・予算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案審査並びに予算審査の主な内容を紹介します。

総務

◆議案審査

福島市消防団員の定員、任免、服務及び給与に関する条例の一部改正

消防団の組織体制の強化および基本団員の負担軽減を図るため、機能別団員制度を導入する。

機能別団員は、基本団員の活動を補完する役割を担い、支援団員、事業所団員、学生団員に区分され、特定の消防事務に従事する。



◆予算審査

防災情報配信システム（同報系）整備事業費

屋外スピーカー、戸別受信機、スマートフォンアプリなどによる情報発信の多重化により、住民の状況に合わせた様々な端末に対して、防災情報の確実な伝達を行うためのシステム整備を行う。

また、災害対策オペレーションシステム構築事業により、気象情報、雨量データ、河川水位、災害現場の映像情報などを一元的に把握・収集し、迅速かつ的確な防災情報を発信する。

文教福祉

◆議案審査

障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例

ユニバーサルデザインの理念を包含したバリアフリー化を推進し「誰にでもやさしいまち ふくしま」の実現に向け、障害者基本法、障害者総合支援法、障害者差別解消法に基づく推進組織「福島市いきいき共生推進委員会」を設置し、共生社会の実現のための施策を総合的かつ計画的に推進する。

◆予算審査

福島型給食推進事業費

地域の関係団体や生産者などと連携し、学校や幼稚園・保育施設における給食への本市産農産物の使用拡大を図り、地産地消率50%を目指すとともに、子ども達の地産地消への意識を高める。

また、小中学校の給食費、幼稚園・保育施設の副食費の負担軽減を図る。



経済民生

◆議案審査

財産処分の件（福島おおぞうインター工業団地）

本市の工業振興と雇用創出のため、新たに造成した福島おおぞうインター工業団地の分譲区画2区画を立地を希望する企業2社へ売却する。

◆予算審査

古関裕而を活かしたまちづくり事業

古関裕而氏の功績や音楽を活かした新たな都市間交流のため、ゆかりのある自治体とのサミットを開催する。

また、商店街への回遊を促進し、中心市街地の活性化を図るため、古関裕而ストリーートの周辺に回遊拠点となる「古関裕而まちなか青春館」を設置する。



古関裕而記念館
(ふくしん夢の音楽堂隣)

建設水道

◆議案審査

未就学児緊急安全対策事業費

未就学児が日常的に集団で移動する経路における交通事故の発生を未然に防止するため、国・県・警察・施設管理者および本市が合同で実施した安全点検結果により、安全対策が必要な交差点への防護柵や車止めの設置、側溝の蓋がけなどの施設整備を継続して行う。



区画線とポール設置をした交差点

◆予算審査

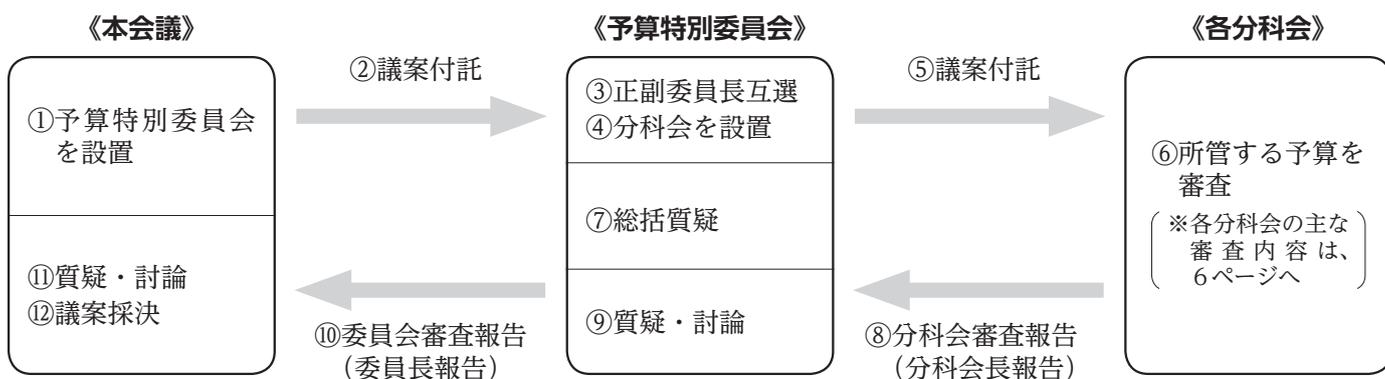
バリアフリー推進事業費

市域全体におけるバリアフリーのまちづくりの基本的な方針を示す、バリアフリーマスタープラン策定に取り組むため、高齢者や障がい者の方と共にまち歩き点検を行い、課題などを的確に把握する基礎資料を作成し、データの分析を行う。

令和2年度の予算を審査 ～予算特別委員会～

議長を除く34名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、4つの常任委員会（総務、文教福祉、経済民生、建設水道）と新庁舎西棟建設調査特別委員会を単位とする各分科会において、新年度の予算審査を行いました。

予算審査の流れ

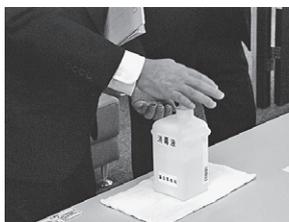


～新型コロナウイルス感染症の 拡大防止対策を実施～

3月定例会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、本会議の傍聴者の方に、マスクの着用と入場時の消毒液による手洗いにご協力をお願いしました。

また、委員会室は、傍聴席の距離を十分にとることや感染防止の対策を十分にとることができないため、感染拡大防止及び傍聴にお越しくださる皆さまの健康を守る観点により、委員会の傍聴を当面の間、中止しております。

今後、委員会の傍聴を再開する場合には、



福島市議会ホームページなどでお知らせいたします。

令和2年春季 議会報告会・意見交換会は 開催いたしません。

春季議会報告会・意見交換会は、毎年5月に開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を見合わせることにしました。

今後の開催時期や会場などについては、改めて福島市議会ホームページなどでお知らせします。

皆様の健康を守る観点から、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



令和元年秋季に開催した議会報告会・意見交換会の様子